

平成21年度第1回田原市図書館協議会

日時：平成21年7月2日（木） 午後2時30分～午後4時25分
文化会館204会議室

出席者：協議会委員9名

（澤井、森下、加藤、中島、廣中、林、小澤、鈴木一、岩瀬）
事務局3名（森下、鈴木三、武村）

1 あいさつ

澤井委員長

2 協議内容

1) 平成20年度図書館実績報告について（資料1）

館長より資料1に基づいて説明

委員：赤羽根の入場者はどうか？

館長：機械を付けていないのでわからない。

委員：平成21年度の図書館運営のところで平成19年決算額となっているのはこれでもいいのか？

館長：20年度決算額の間違いです。

館長：図書館別の利用実績について説明

年報の32ページの相互貸借内訳について説明

＃の27ページの年齢別・性別の登録者数・貸出数について説明

2) 平成20年度先進地視察について（資料2）

館長より平成21年2月28日に実施した岡崎市立中央図書館を視察した際、委員さんから提出されたレポートをまとめたものである旨の報告をする。

併せて参加できなかった委員さんもいるので、岡崎中央図書館の概要を説明する。

参加された広中、小久保委員からの開館時間の延長についてのご意見に合わせて、館長から資料4に基づき説明を行いご意見を伺う

：図書館の年間の運営経費はどのくらいか

館長：1億1千万円に正規職員の人件費 8,800万円を加え、概ね2億円程度、これを市民一人当たり換算すると3000円程度負担となる。

委員：2時間延長した場合、どのくらいの人が増えるのか。

館長：にわかに推測は難しい。

委員：自動貸出機の利用が低いですが、利用を促すような手段はとっているのか。

館長：今年度の方が去年より利用が低くなっている。職員の窓口対応が良いのでは。今は、あまり待たせてないので、これが待たすような状態になれば進んで貸出機の利用を促すようになるのではないかと。今は積極的に誘導する考えはない。借りた本により生活を推測されるのが嫌な方や、体面が苦手な方がご利用いただければ良いのではないかと。

委員：貸出機導入に至った考えはどういうものか。

館長：プライバシーを人に見られたくない人もいるだろうという考えで、利用については入れてみなければわからないということであってとりあえず1台となったが、頻度を見ていて1台で十分と考えている。

委員：何年度からか。

館長：平成19年の10月からです。利用は1年経って減り気味です。

委員長：貸出機の利用が増えれば、人員を減らすことになるのか。

館長：影響がないことはないのでは。ただカウンターでの時間は一日の業務の一部分であるので単純に判断するのは難しい。

3) 平成21年度事業計画・予算について(資料3)

事務局から資料に基づいて説明

館長：切れる所は切った予算となっている。

委員：渥美、赤羽根の人員はどうなっているのか

館長：昨年と同じ体制である。資料1の2ページに載っている。

4) その他

館長：資料4については先程、土日の開館のことでお話をしたので割愛する。

委員長：それでは協議としては終わりですが、何かあればどうぞ。事務局どうですか。

館長：何かテーマを決めて協議会の意見として館長あてに答申してほしい。

また、本年度は日進市の図書館の視察を計画している。参考になるのではないかと。日程についても決められれば。

テーマを決めていただければ、こちらで資料を作ってそれをお出ししてまた、意見を言ってもらってそれをまとめて、今期の協議会の意見として答申させていただきます。そこまでやってる協議会もあるしそうでもないものもある。何か関心のあるテーマがありましたら。

委員：知れば知るほど問題点は見えてくると思う。自分も学校図書館に行ったこともないし、移動図書館で借りたこともない。そのあたりのところで委員の方がわかれば、何かあるのかも。

館長：今、学校司書が6人いるが、一人当たり4校を持ち週に1回程度学校を回っているが、本来は毎日いるのが望ましい。子供のころからの読書環境は非常に大切であるので、学校図書館の充実、学校図書館と公立図書館との連携が大切である。

委員長：学校図書館司書の充実というのは学校側からすると良い諮問と言うことになると思うが、今の協議会委員のメンバー構成からすると共通のテーマにならない気がするが。

委員：市立学校に意見を言うというのが、図書館協議会の仕事なのか。

館長：学校ではなく館長に言って下さればいい。例えば、学校資料の活用で各学校をパソコンでつないで必要な時に必要な学校に資料を集めるために輸送を行う学校支援センターのようなもの、豊橋にあります。このようなものを提案し、図書館としてはできることをやってくださいという諮問である。図書館協議会からこのような諮問を頂いたとなると、上に上げていくのに良い取っ掛かりとなる。

委員：豊橋が施行して1年になると思うのでどんな状況なのか情報提供はできないのか。

館長：働きかけはできると思う。来てくれるようお願いするしかないが。石川県の白山市でそのような良い取り組みをしている。

委員：図書館協議会の理念でもある貸出数をもっと伸ばしていくということにもう一步踏み込んでいくというのはどうか。

館長：日進の図書館を見ていただいてから考えていただいても良いのでは。

委員：実際に見てからの方が意見が出やすく、諮問に結びつけやすいのでは。

委員：今ざっと日進の図書館のアウトラインの説明ができるか。

館長：概要説明

委員長：日進とか岡崎とか新しい所ではなく、先進的な例えば成人男性の貸出数が多いとか、学校支援センターなるものが機能してるような活発な所の方がいいのでは、新しい所へ行くメリットは何か。

館長：新しい所は方針がはっきりしているし、市のバスで日帰りで行くので限られる。幸田町も参考になると思う。

委員長：豊橋はどうか。学校同士はすべてパソコンでつながっているらしいが、学校支援センターとはどうか。

委員：まだ徹底されてないので学校図書館を支援するまではいってないと聞いている。白山市は国の補助金をもらって試行的にやったので、補助金がなくなればやれないといっているの、バックアップがなくなればどうなるのか。

委員長：豊橋では84校つながっていると聞いているが、田原ではまだ東部中のみだけである。

館長：学校図書館の支援ということで答申を出していただくなら豊橋市でも良いと思うが、図書館全般に対する理解を深めていただくなら、今の公共図書館をやっている人間は何を考えてやったのかというビジョンがあった方が良いのでは

委員：ここの図書館も視察が多いと思うが、その方たちは何を目的に来るのか。

館長：新しい図書館を建設するので参考にするとというのが多い。

委員長：今出てきたのを参考にし事務局で視察場所を決めてほしい。答申も急ぐものでもないと思う。時間を押してきたのでここで会を閉めたいと思う。

館長：一言づつお願いできれば

委員：平日のどこかに休館日を増やして、休日に2時間延長することはできないのか。

館長：嘱託は時間給でなく、週5日 1日7時間ということで月額報酬となっているので条件的にも無理であるし、利用者の方はどの曜日が多く、どの時間帯が特に多いというのではなく満遍なく見えているので難しい。

委員：自分のような30代から40代の読書に関心の薄い男性に図書館に来てもらうようにすることがキーである。

館長：青年会議所と何か一緒にコラボできることはないか。是非とも一度図書館へ足を運んで見て欲しい。

委員：子供が小さい頃はよく一緒に利用させてもらったが最近あまり。自動貸出機のことすら知らなかったし、とにかくまず来なければ。

委員：施設にかかる費用に比べれば、人件費なんて微々たるものである。人間を大事にしてやってる図書館はないのか。

委員：去年、図書館の裏側を見せてもらい、中学生が図書館に興味を持ったようだ。学校司書を通じてまた本を借りていきたい。朝の読書習慣も身につけてきたので、図書館でも本屋が選んだ本というように推薦本を示してくれればと。

館長：小学校にはリストを配布している。中学生には夏休み期間中に調べものに役立つ本として2年前から図書館に置いてある。

委員：こちらが読ませたい本と生徒が読む本が食い違っているのでは。

館長：永遠の課題である。

委員長：次回は視察になると思うがその後の日程はどうなるのか。

館長：まず、10月頃に視察をお願いし、あと1回ないし2回となると思う。

委員長：それではこれで第1回目の図書館協議会を終了する。